

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2023年3月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2023年3月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469	467	571
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841	85,507	111,183
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388	358,445	359,637
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003	54,041	51,650
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417	52,319	49,931
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586	1,721	1,718
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557	155,331	154,837

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

### < 3月次の概況 >

3月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=136円前半で取引が始まり、7日の議会証言でパウエル議長が利上げペースの加速や利上げ長期化の可能性を示唆したことからドル買いの動きが強まり、8日には一時137円台後半の月中高値を付けました。翌9日には米銀の経営難に端を発したリスク回避の動きが強まり、米ドルが売られ136円を割り込む場面がありましたが、10日に日銀の金融政策現状維持が発表されると、米ドル買いでの反応となり米ドルは137円近傍まで値を戻しました。しかし、その後の2月米雇用統計では、非農業部門の雇用者数が市場予想を上回った半面、失業率が悪化し平均時給の伸び率も市場予想を下回ったため、利上げペースを加速させるほど強い内容ではないと受け止められ、米ドルは急落し一時134円台前半を付けました。週明け13日には米銀の相次ぐ破綻を受け、米ドルは続落し一時132円台前半を付けました。その後米ドルは、15日に135円台前半まで値を戻す場面もありましたが、欧州大手銀行の株価急落で金融システム不安が高まり、24日には一時129円台半ばの月中安値を付け、132円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、米ドル同様、金融システム不安を背景に値動きの大きい展開となりました。

外国為替相場の変動率は、1日の平均値幅が1.653円（前月は1.431円）に拡大した米ドル/円をはじめ、ほとんどの通貨ペアで1日の平均値幅が前月より拡大したことから、全体として前月を上回り、2022年2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、高い水準が続いています。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の計5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）の提示を続行しております（2022年11月16日より業界初の標準化）。とりわけ、「米ドル/円」については、2月16日から20万ドルまでのお取引でも18時から21時の時間帯において、スプレッド0.0銭（売買同値）の提示を続行しております。また、ゴールデンマネパタイム（17時から27時まで、以下同じ。）において、「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする計17通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しております。

「約定力100%」のパートナーズFXでは、ゴールデンマネパタイムにおいて「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする計17通貨ペアにて、パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準のスプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。とりわけ、「米ドル/円」と「メキシコペソ/円」については、ゴールデンマネパタイムを大幅に拡大して「米ドル/円」は9時から27時までの計18時間、「メキシコペソ/円」は14時から27時の計13時間で続行しております。

これらに加えて、2022年10月に新通貨ペアリリース記念として始めたデジタルギフトキャンペーン（新規/決済のいずれか1回以上のお取引で、もれなくデジタルギフトをプレゼント）を拡充し、3月はパートナーズFX（2月6日から追加）及びパートナーズFXnanoの「米ドル/円」、「豪ドル/円」など計14通貨ペアを対象に継続実施しました。4月3日からは、新規のお取引を対象とし、当キャンペーンをパートナーズFXとパートナーズFXnanoに分けて開催しております。なかでも、パートナーズFXではお取引高に応じてプレゼントがランクアップするなど取引高増加の施策を図っております。

さらに、パートナーズFXでは「米ドル/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」をはじめとする計10通貨ペアにてキャッシュバックキャンペーンを継続実施しました。4月3日からは主に指値注文の新規約定に焦点を絞ったキャッシュバックキャンペーンとして実施しております。

また、2022年10月24日より、「人民元/円」、「米ドル/人民元」（パートナーズFXのみの取扱）、「ノルウェークローネ/円」、「イスラエルシェケル/円」の計4通貨ペアの取扱を開始しております。とりわけ「人民元/円」においてはゴールデンマネパタイムにおけるスプレッドを業界最狭水準の「0.4銭」で提示し、スワップポイントでも取扱開始以来、最高水準のスワップポイントを付与しております。なお、「イスラエルシェケル/円」のお取引ができるのはマネーパートナーズのみ（※）となります。

4月3日より「人民元/円」、「米ドル/人民元」の計2通貨ペアで、パートナーズFX及びパートナーズFXnano（「人民元/円」のみ）の新規約定数量の合計に対してギフトセットをプレゼントするキャンペーンを行っております。

※一般社団法人金融先物取引業協会 2022年6月末時点会員137社、特別参加者4社を調査

マネーパートナーズでは3月18日にスマートフォン用取引アプリとして新たに「FX取引アプリ」をリリースしました。このアプリの特徴としては、大きな数量の取引が可能なパートナーズFXと少額からはじめるパートナーズFX nanoを1つのアプリで管理でき、直感的な操作が可能なオールインワン取引アプリであることや、トレンドラインの描画をはじめとした高機能チャート、取引機会を逃さないプッシュ通知機能等を備えております。本アプリのリリースに際して、本アプリで1万通貨以上のお取引をされ、かつアンケートにご回答いただくとともにAmazonギフトカード500円分をプレゼントする企画を実施しており、アンケート回答でいただいたお客様の声を反映し今後もより良いお取引環境の構築に取り組んでまいります。

これらの結果、外国為替取引高は、米ドル/円を中心に増加し前月比30%増加の1,111億通貨単位となりました。営業収益は、トレーディング損益が増加したことに加え、システム関連売上高が増加し、前月比22%増加の571百万円となり、2022年12月以来、今期3度目の5億円超えとなりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ減少し、全体では前月比2,391百万円減少の51,650百万円となりました。

当社は2023年3月15日開催の取締役会において以下のとおり配当方針を変更し、配当性向の目途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っております。同日付の期末配当予想における2023年3月期の年間配当は1株当たり12.75円となっており、6月開催予定の定時株主総会において期末配当が承認された場合には配当利回りは5.12%となる見込みです。

(注) 配当利回りの計算において使用した株価は、上記方針変更の取締役会決議日である2023年3月15日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である249円としております。

#### 【配当方針の内容】

当社は、企業価値の長期継続的な創出、向上が株主利益貢献の基本であるとの認識のもと、株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元を経営上の最重要課題の一つと位置づけております。剰余金の配当につきましては、業績の向上に必要な投資のための内部留保と、株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元のバランスを考慮しつつ、財務状況及び事業環境等を総合的に勘案した株主還元策の実施に取り組むこととし、通期の連結業績における親会社株主に帰属する当期純利益の50%を配当性向の目途として中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針としております。

以 上